

決勝の相手は桃山学院！



桃学大(左)はサイドを有効に利用し東海の強豪・静産大を一蹴した

駒大対明大の前に行われた試合、静産大対桃学大の試合は1-3で桃学大が勝利し決勝に駒を進めた。終始優位に試合を進めた桃学大は江添を中心とした堅い守備と森を中心とした攻撃で静産大を圧倒。関西チャンピオンの実力を見せつけた。この桃学大は11日、駒大と日本一をかけた長居競技場で激突する。

なお、静産大に所属する塚本泰史の兄・浩史は出場したが途中交代。決勝での兄弟対決とはならなかった。

中盤で壁となり明大の攻撃を跳ね返した菊池。試合後、優秀選手にも選出されている



久々のゴールを決めて喜ぶ原。決勝に向けてエースの復調は頼もしい限りだ



7月9日 18:15 長居第2陸上競技場
駒大 2(1-0) 1 明大
(関東第3代表) (関東第1代表)

得点者(アシスト)

【駒】18分：原 一樹
 【駒】50分：原 一樹
 【明】89分：斉藤 優 (栗橋庸介)

KOMAZAWA	MEIJI
GK⑩太 洋一(4)	GK①古川崇嗣(3)
DF④小林 亮(4)	DF②福田健介(2)
DF⑤鈴木祐輔(4)	(56分④伊野 弾(4))
DF③大澤陽介(4)	DF③金 大慶(2)
DF⑬筑城和人(2)	DF⑫川野 毅(4)
MF⑨菊池光将(1)	DF⑭高杉亮太(3)
MF②塚本泰史(1)	MF⑧小川佳純(2)
(85分⑩小野里銀児(1))	(73分⑨斉藤 優(9))
MF⑬鈴木亮平(3)	MF⑭栗橋庸介(3)
(59分⑩東平大佑(1))	MF⑮森 賢一(2)
MF⑥中後雅喜(4)	MF⑯日高拓磨(3)
FW⑨赤嶺真吾(3)	FW⑰松ヶ枝泰介(4)
FW⑪原 一樹(2)	FW⑱山本 剛(2)
S U B	(78分⑩吉田陽平(3))
GK①牧野利昭(3)	S U B
DF②桑原 靖(3)	GK⑭関 憲太郎(1)
DF⑮廣井友信(2)	DF⑲石井秀典(1)
MF⑧中嶋祐太(2)	MF⑥藤浦健人(3)
MF⑰岩本哲也(4)	FW⑳鳥丸太作(4)
MANAGER	MANAGER
秋田浩一	吉見 章

警告(C)/退場(S)

【明】14分：福田健介(C)、48分松ヶ枝泰介(C)
 62分：松ヶ枝泰介(C)、62分松ヶ枝泰介(S)、
 ※警告2枚のため退場
 64分：山本 剛(C)、78分斉藤 優(C)、
 89分：金 大慶(C)
 【駒】36分：鈴木祐輔(C)※累積2枚のため次戦
 出場停止
 56分：大澤陽介(C)、58分：中後雅喜(C)
 [シュート]11:10[枠内シュート]5:2[決定機]3:2[CR]21:8
 [CR]7:3[PK]0:0[直接FK]17:13[間接FK]2:3[OS]2:3
 [主審]奥谷彰男[観衆]約300人

※上記データは全て左側の数字が駒澤。枠内シュート、決定機は本誌記者による記録です

明大の右サイドを封じるため投入された塚本(左)。その仕事を見事やり遂げた



駒大の精神的支柱となってきた鈴木祐。それだけに決勝に出られないのはたい

中後(中央)、小林亮はこれで4年連続大臣杯決勝の舞台に立つことになった

基本フォーメーション



注目
鈴木が決勝戦出場停止！！
 前半36分、鈴木が今大会2枚目のイエローカードをもらってしまい決勝戦、出場停止になってしまった。本人は「出場停止は自分が悪いんでしょうがない。あとはチームにとってできることをしっかりやって気持ちみんなと一緒に戦いたい」と話した。決勝戦、代役になるであろう桑原、廣井にも期待したいところだ！

MAN OF THE MATCH



MF 菊池光将

中盤の底で再三、明大の攻撃の芽をつぶした菊池。その高い身体能力を生かし、打点の高いヘディングで相手の攻撃を中盤で跳ね返した。決して目立ちはしないが献身的にチームの勝利に貢献。シンプルなプレーで攻撃のリズムを作った。

PROFILE

きくちこうすけ(1年)
 1985年12月16日
 182㌢・72㌔
 越谷FC(埼玉)→浦和東高校(埼玉)